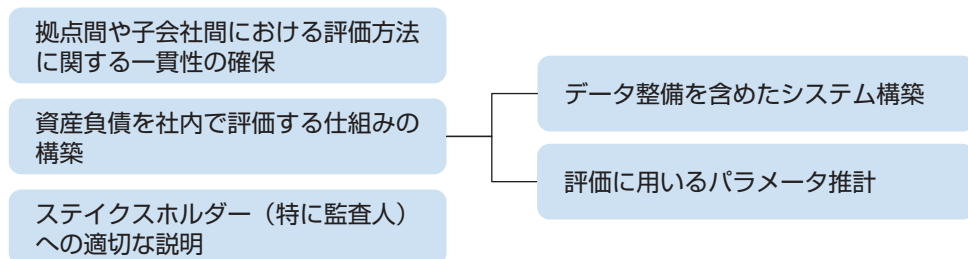


IFRS対応グローバル金融資産負債評価支援コンサルティング

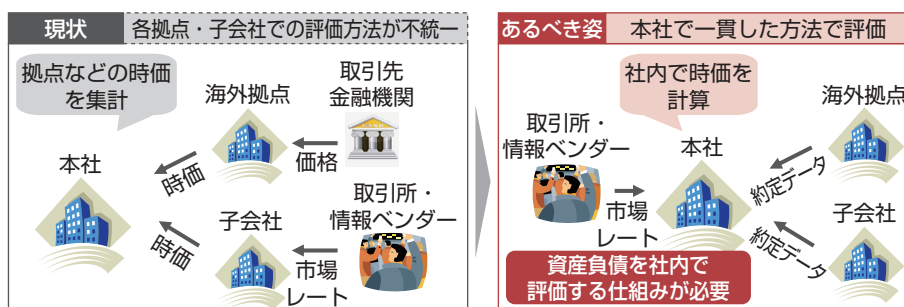
IFRSなど会計基準の変更に伴う課題

- IFRSなど会計基準の変更や株主からの開示圧力の増大により、企業は、資産・負債評価の精緻化が求められています。具体的な課題は3点あると考えます。
- 1点目は評価の一貫性の確保です。現状では、多くの企業で、拠点や子会社ごとに評価方法が異なるなど、一貫性は必ずしも確保されていないと思われます。
- 2点目は資産負債を内部で評価する仕組みを持つことです。たとえば、デリバティブ評価の際、取引先金融機関の提示価格を用いると、利益相反や一貫性の問題が生じるためです。この仕組みを構築するには、評価に用いるモデルの選定、必要なデータの整備やパラメータの推計が課題となります。
- 3点目はステイクホルダー（特に監査人）に適切に説明することです。財務担当者は、評価方法に関する深い理解が求められます。



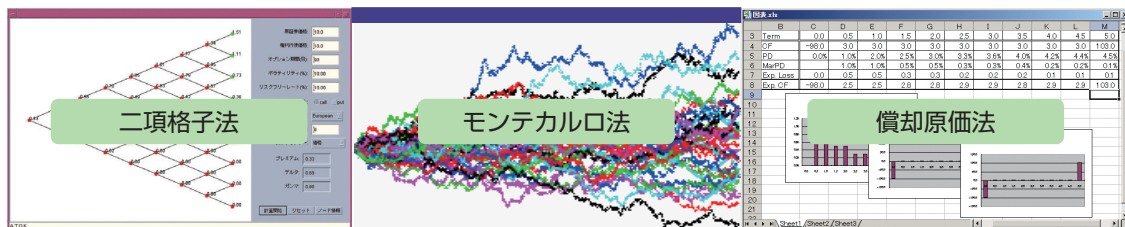
課題解決のアプローチ

- 上記課題のうち1点目の解決のためには、約定など評価に必要な情報を本社で集中管理すべきです。現状では、多くの企業で、このような情報は拠点ごとに管理され、本社は評価した結果のみを収集しているものと思われます。
- 2点目の解決としては、本社の財務管理システムに評価機能を持たせることが有望です。



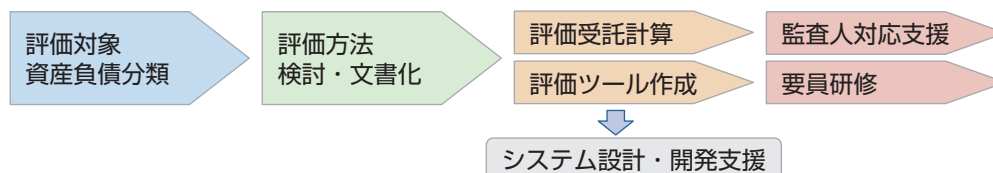
資産負債評価に用いる手法

- 富士通総研は、エキゾチックオプションをはじめとする資産負債の評価について豊富な実績があり、知見を金融計算ライブラリという形で蓄積しています。
- 特に、モンテカルロ法のような高度な数値計算を必要とする非上場デリバティブの公正価値や、期待損失モデルによる償却原価評価の際にお役に立てると確信しています。



ご支援のプロセス

- 具体的なご支援のプロセスは下図のとおりです。お客様に必要な項目のみご支援することも可能です。



評価対象資産負債の分類	評価したい資産負債が複数ある場合、評価方法が同じものを分類します
評価方法検討・文書化	評価方法の候補が複数あり得る場合はお客様とご相談の上で決定します。また、お客様にわかりやすい表現で評価方法を文書化します
評価受託計算	お客様の対象資産負債データをお預かりして、弊社で評価した結果を提出します
評価ツール作成	評価ツールを作成しご提供します
監査人対応支援	監査人への説明文書作成などのアドバイスを実施します
要員研修	財務担当者などに評価方法について研修を行います
システム設計・開発支援	財務管理システムなどに評価方法を実装する際、設計や開発を支援します

期待効果

- 資産負債評価の精緻化による市場参加者からの評価向上
- 金融危機など収益環境の悪化に対する早期対応
- 為替リスクなど集中管理による財務コスト削減

お問い合わせ先

株式会社 富士通総研

第1コンサルティング本部 金融・地域事業部

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1ニューピア竹芝サウスタワー TEL:03-5401-8386

<http://jp.fujitsu.com/group/fri/>